

## 教育講演 7

### がんゲノム医療の現状と将来像



杉本 直俊

大阪国際がんセンター  
腫瘍内科 遺伝子診療部

令和元年に「固形腫瘍の腫瘍細胞を検体としたがんゲノムプロファイリング検査(CGP)」が保険承認され、実地臨床下にてのがんゲノム医療の実装が可能となった。

ただし、承認要件として「標準治療がない固形がん患者又は局所進行若しくは転移が認められ標準治療が終了となった固形がん患者(終了が見込まれる者を含む。)」のうち「全身状態及び臓器機能等から、本検査施行後に化学療法法の適応となる可能性が高いと主治医が判断された者」とされていることよりその対象は限定される。検体提出はがんゲノム医療中核拠点病院、拠点病院あるいは連携病院においてのみ可能であり、結果説明においてはがんゲノム医療中核拠点病院及びがんゲノム医療拠点病院にて実施されるエキスパートパネル(EP)にての議論が必須要件である。検査オーダーにおいては、二次的所見の可能性も含めた丁寧な説明、がんゲノム情報管理センター(C-CAT)への患者情報登録、適切な提出検体(適切な保存方法、保存期間、十分な腫瘍量が担保された検体)の選択が必要である。返却される検査会社からのレポートおよびC-CATレポートを踏まえたくえてEPが開催、議論の結果正確なEPレポートが作成されなければならない。

このように、CGPは通常の検査に比べて煩雑

かつ複雑な運用となっているためその実装には多職種による協力体制が必須であるが、①低い治療到達率、②請求漏れ問題(いわゆる48,000点問題)、③人件費・エフォート問題、④TAT(turn around time)問題、など課題が山積している。

令和3年8月には「血液を検体とした」CGPも適応追加され、その出件数は増加の一途を辿っており業務効率化による質と量の担保は喫緊の課題である。

大阪府では、大阪府がん診療連携協議会下のがんゲノム医療推進部会を年2回開催し、がんゲノム中核拠点・拠点病院、連携病院、その他の非連携病院にアンケート調査を行い、CGPの運用実態と問題点、改善方法などを共有している。中核拠点・拠点病院間や連携病院間など同一の立場間において異なる事情、課題があるのみならず、医療機関の立場の違い(中核拠点・拠点病院と連携病院間など)による異なる課題が浮き彫りとなってきた。

本講演においては、上述の大阪府がんゲノム医療推進部会にて見えてきたがんゲノム中核拠点・拠点病院、連携病院、非連携病院それぞれの抱える諸問題を明らかにする。とともに、がんゲノム拠点病院である当施設にて行っている工夫や対策、将来像について述べる。

---

## 略歴

1969年(昭和44年) 7月17日生まれ

出身地：大阪市

1989年(平成元年) 4月1日 三重大学医学部 入学

1995年(平成7年) 3月24日 同上 卒業

1995年(平成7年) 4月15日 第89回医師国家試験 合格

1995年(平成7年) 5月8日 医師免許証 下付

1995年(平成7年) 5月9日 大阪大学 第二内科 入局

1995年(平成7年) 6月1日 国立呉病院 内科研修医

1998年(平成10年) 6月1日 市立伊丹病院 内科医員

1999年(平成11年) 4月1日 大阪大学大学院医学系研究科腫瘍発生学講座 入学

2003年(平成15年) 3月25日 同上 修了 医学博士

2003年(平成15年) 4月1日 大阪府立成人病センター 消化器内科 内科主任

2005年(平成17年) 4月1日 広島大学大学院医歯薬学総合研究科臨床腫瘍学 助手

2007年(平成19年) 4月1日 同上 助教

2008年(平成20年) 4月1日～ 地方独立行政法人 大阪府立病院機構

大阪府立成人病センター 臨床腫瘍科 医長 兼 消化器内科

2008年(平成20年) 10月1日～ 同上臨床腫瘍科 医長 兼 消化管内科

2011年(平成23年) 4月1日～ 同上臨床腫瘍科 副部長 兼 消化管内科

2015年(平成27年) 4月1日～ 三重大学腫瘍内科 非常勤講師

2017年(平成27年) 3月27日～ 地方独立行政法人 大阪府立病院機構

大阪国際がんセンター 腫瘍内科 副部長

2020年(令和2年) 4月1日～ 同上 兼 遺伝子診療部

2021年(令和3年) 4月1日～ 同上遺伝子診療部 部長 兼 がんゲノム診療科 部長 兼 腫瘍内科

## 受賞

2004年(平成16年) 3月16日 大阪対がん協会表彰

切開・剥離法を用いた早期胃癌内視鏡粘膜切除術の適応拡大に関する研究

## 加入学会

日本臨床腫瘍学会(評議員、指導医、がん薬物療法専門医)

日本痛治療学会(代議員)

日本大腸肛門病学会(評議員)

大腸癌研究会(大腸癌化学療法委員)

日本がん治療認定医機構(暫定教育医)

日本内科学会(総合内科専門医)

日本消化器病学会(専門医)

日本消化器内視鏡学会(指導医、専門医)

日本胃癌学会(代議員)

日本痛学会、日本緩和医療学会、日本遺伝性腫瘍学会

American Society of Clinical Oncology (ASCO, active member),

European Society for Medical Oncology (ESMO, full member)